

【避難訓練を終えて】(防災安全担当 仲川・雨森)

2月7日(火)に避難訓練を行いました。地震時における避難の仕方を訓練しました。放送を聞いてゆれている間は机の下にもぐり、ゆれがおさまったら何かで頭を守りながら落ちてくるものに注意しながら外に避難することをめあてとして行いました。ハンガリーではあまり地震はありませんが、日本へ帰ったときにいつでも対応できるようにと考えてのことです。子どもたちは放送と先生の指示をよく聞いて真剣に避難しました。避難後、ホールに戻って日野先生から「東日本大震災を乗り越えて」の講話がありました。映像を交えての体験談はたいへん訴えかけるものがあり、子どもたちは真剣に聞き入っていました。その後、大使館の今井様より日頃の地震に対する心構えについての講話をいただきました。今年度は火災、不審者侵入、地震の3回に渡って避難訓練を行い、放送や先生の指示をよく聞くこととそれぞれの状況に応じた避難の仕方を学びました。



【おはなし会 小学部5・6年生】(5・6年担任 佐々木・甘利)

2月20日(月)の3時間目に、図書ボランティアのみなさんによる『おはなし会』がありました。高学年の考える力を掻き立てる内容の絵本で子ども達は話のポイントについて教室で考えたり、大統領のスピーチの話を知って、様々な国の立場からものの見方は変わるということを学習できたりと45分間とても実りある時間となりました。自分の興味のある内容の本は自然に手にとるようになっていますが、興味は何をきっかけに広がるかはわかりません。このような機会は知識の幅や興味が湧く本に出合えるいいチャンスです。

図書ボランティアのみなさま、様々な手法でおはなし会を実施してくださりありがとうございました。

【海のように心の広い6年生の会】(佐々木)

2月24日(金)の5時間目に「海のように心の広い6年生の会」を実施しました。6年生に日ごろの感謝の気持ちを込めて5年生を中心に1年生～4年生まで出し物の練習をがんばってきました。1年生は縦割り班のみんなで作った色紙をメッセージと共に渡し6年生からほっこりとした笑顔を引き出しました。2年生はプログラムのトップバッターというのもあり、おそろいの可愛い衣装を着て学園天国のダンスで元気に盛り上げました。3年生は縦割り班で触れ合えるようにジェスチャーゲームを考え、最後に6年生と身近に触れ合える機会を作りました。4年生は6年生の顔の一部の写真を



掲示し、「誰でしょう!クイズ」をすると共に一人一人に対して感謝の気持ちを伝えていました。5年生は司会、準備と会そのものを企画し、6年生の日頃の見習うべき姿を劇で表現し、一緒に学年団として歩んできたからこそ教わった部分を伝えました。そして、さすが6年生。6年生はお礼の出し物として、在校生へおもしろい映像と共にカーテン巻をプレゼントしてくれました。映像のインパクトが大変強く、会が終わった後も「もう一回あの映像が見たい!」といった声がとびかかっていました。6年生はさすが在校生の鑑です。各学年の個性が光るとても温かい会となりました。

【授業研究⑥ 1・2年生 生活科】(授業者 原田・日原 研究部 大久保)

1・2年生の生活科では、「町（ハンガリー）のことを伝えよう～絵本作家マレークベロニカさんとお話を通して～」というテーマのもと、学習を進めてきました。3学期には、『キップコップとティップトップ』の人形劇をハンガリー語で鑑賞することに挑戦しました。この人形劇鑑賞をするにあたって、どんなことに気をつけて見たら人形劇を楽しむことができるのかについて、みんなで考えました。授業では、自分達が考えた意見をワークシートに書き出し、それをもとに、グループで発表し、最後に全体場で発表するという活動を行いました。子ども達は、自分の意見をワークシートに書き出すことで、グループの中で伝え合う活動を行うときに、自信を持って伝えることができました。しかしながら、子ども達が自信を持って言った意見に対して、聞いている子ども達からは、「同じです。」「似ているけど私の意見とは少し違います。」といったような反応を返すことが少なく、言いつばなしになっていました。この点に関しては、「伝え合う」活動を行う際の課題だと感じました。そして、みんなで確認したポイントを元に、ハンガリーの子ども達と一緒に人形劇鑑賞を行いました。当日は、ハンガリーの人形劇場の雰囲気をつつりと味わいながら、人形劇を楽しむことができました。最後に、子ども達に「人形劇はどうでしたか？」と聞いてみると、どの子も「楽しかった」と笑顔で答えていました。この1年間の学習を通して、子ども達から「ハンガリーには、こんなお話があるよ。」「ハンガリーにはこんな人がいるよ。」など、ハンガリーについて学んだことを身近な人々に伝えられるようになればと思います。

本年度最後の研究授業であり、研究のまとめとして位置付けた授業でした。

今回は小学部1・2年生が、通年で取り組んでいる「絵本作家マレークベロニカさんとお話を通して」をテーマにした学習でした。1学期ではベロニカさんと会い、2学期にはベロニカさんの書いた絵本を劇で表現し、3学期はベロニカさんの絵本の人形劇を見に行くという大きな枠組みでの学習内容でした。

授業では、「人形劇を楽しむポイントを見つけよう」というめあてのもとで、どんなことに気を付けると人



形劇を楽しんで鑑賞できるかを話し合いました。「人形劇をする人の表情」や「せりふを聞く」や「人形の動きに注目する」など、多くの意見を出し合うことができました。また、グループで出た意見を代表の児童が発表する活動も行いました。児童一人ひとりが人形劇を楽しむポイントをしっかりと考えることができた授業となりました。また単元全体としては、1学期から3学期まで一貫してベロニカさんに関することを扱ったことで、「ハンガリーを代表する児童向けの現地素材」について理解を深めることができました。現地素材との触れ合い方についても、絵本を読むだけではなく、劇にして表現してみたり、人形劇を見に行ったりするなど多角的なアプローチをすることによって、継続的に児童の関心や意欲を引き出すことができました。大きな成果であったと考えています。

今年度、6回の授業研究を行い、4月より進めてきた「自分らしさを見つめ、考える子どもを育てる～教材開発に焦点を当てた、学び合いのデザイン～」については、現地素材を取り入れた教材開発の仕方や、授業の中で児童生徒が主体的な学び合いを生む仕方について一定の成果を得ることができました。この成果を来年度の研究はもちろん、日々の授業にも取り入れていきたいと考えております。

【春休みの図書室利用について】(図書担当 雨森)

春休みの期間中に教室の改装工事を行います。利用者の皆さんの安全確保のため、春休み期間中は図書室の利用を中止致します。

なお、春休みの図書の本の貸出については、3月1日（水）～10日（金）の期間で行います。児童生徒の皆さんは一人5冊、保護者の方・外部の方はひと家族あたり10冊借りることができます。